

2003 年 12 月 25 日
(社)日本自動車工業会

自動車業界の取り組みと考え方

1 . 2010 年の燃費向上による CO₂ 削減

各社は政府の温暖化政策を真摯に受け止め、2010 年燃費基準の達成を前倒しして進めている。その結果、温暖化対策推進大綱の自動車燃費による CO₂ 削減目標は達成すると推測している。

ただし、運輸部門の CO₂ 削減目標を達成するためには、交通対策や物流効率化の確実な実施が必要である。

2 . 2030 年までの新燃料の普及と課題

(1) 燃料電池車

昨年末より、数社から、極めて限定的にリース販売が開始されている。

将来的には、究極のクリーンエネルギー自動車のひとつとして、期待が高いと理解している。

技術やコストなど、実用化に向けては、まだまだ解決すべき課題は多い。
また燃料製造段階での CO₂ 発生も大きな課題である。

(2) DME、GTL、バイオマス燃料

数社が自動車への適合性について研究されたと聞いている。

これらの石油代替燃料の実用化や普及には、車両の対応技術、燃料供給量の確保、燃料コスト、インフラなど課題が多い。

以 上